



スピーカー部門
<モダン>



Raidoh Acoustics Ayra C-1
& Davone Ray

「音楽を楽しむためのツール」としてオーディオを考えた時、
それらはやはり「嗜好品」であって、持つ人に喜びを与える
ものでなくては！と考えます。

今春私たちが皆様に自信を持ってお勧めしたいもの、
それは…

外観、コンセプト、音質、どれをとっても異なる2つのスピーカー、Raidoh Acoustics「Ayra-C1」と、Davone「Ray」。実はこの2つに大きな共通点がありました。それは、「スピーカーを浮遊させている」ということと共に、デンマーク製であるということ。各社ともそれぞれの哲学をもって丹念に作りあげられたスピーカーなのです。Ayra-C1はユニット大国デンマークにありながら自身の理想のため自社開発された11.5cmのウーファーにリボンツイーターを合わせた、2WAYのパスレフ型。特に私達が注目したのは、今までに見たこともない形状のフローティングスタンド。このスタンドを使用することによりC1の音は完成され、シルキーながら太い鳴りの音楽性豊かな表情で、聴く人を魅了するのです。…それは、同社のC2とは全く異なる音楽再生。一方Rayは、デンマーク製のツイーターとイギリス製のプロ用8インチウーファーを組み合わせ、同軸状にマウントしたものを採用し、強度とダンピング効果の高いブライウッド(曲げ木加工)のキャビネットに納めています。このサイズでは考えられない低域の量感、中域の厚みで素晴らしいサウンドステージを繰り広げ、デザイン、質感など、他では聴いたことのない魅力的な世界を再現します。いずれも今までにない設計思想で、デンマークの思考の柔軟さと技術力の高さ、そして音楽への尽きない探究心を感じます。

記述によると1946年に発表されたLC-1を搭載したスピーカーシステムには初期型と後期型があり、これは初期モデルのもの。1949～50年以降に発表された後期型には改良型のLC-1Aが搭載されています。また同じ時期にコンシューマーモデルとして生産されたS15-S1があります。LC-1ユニットはオルソン博士が38cm口径の同軸2ウェイユニットの1号機として開発したのも。ウーファーとツイーターは磁気回路が別々ながら同じ紙素材のため音質のマッチングが良く違和感も感じられず、まるでシングルコーンのような鳴り方をするのが特徴です。強力な磁気回路で固く厚みのあるコーンのウーファーと、極めて薄い紙でつくられているコーン型のペーパーツイーターはセンター埋め込み型になっており、とてもナチュラルでダイナミックな再生音が繰り出されます。レンジは決して広くはないのに不思議なほどの満足感。これは設計者が、音楽再生に重要な帯域(60Hzから10kHzと言われています)を忠実に再生するには、周波数範囲として中域の音声帯域だけでなく、40Hz～15kHzが必要と考え、その理想の帯域を繋がり良く確実に再生しているからです。1947年頃に、ボストン交響楽団の生演奏とLC-1システムを12台使ってブラインド試聴テストした時、その場のほとんどの試聴者が生演奏と録音の差がわからなかったという有名な話があります。深みのある低域とナチュラルな質感はクラシックホールの空気をそのまま再現し、また、50年代のJAZZを聴けば現代システムには出し得ない心地よい中低域に安心して思わず身を委ね、ノスタルジックというよりも少し実在的な、味わい深い演奏を聴かせます。このオリジナルバージョンは残念ながら非売品ですが、極上ユニットLC-1を入手したため現代版のエンクロージャーを作成する予定です。

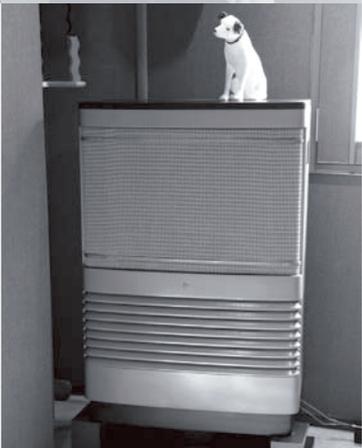
予価:85万(同軸2ウェイ)～100万円(同軸2ウェイ+スーパーツイーター)

ユニットの市場価格は40～45万円/ペア。

スピーカー部門
<ヴィンテージ>



RCA LC-1



SOUNDCREATE SPRING 2011 RECOMMEND

～サウンドクリエイト2011春のおすすめ～



プレーヤー部門



LINN AKU・TE DS/K

昨年に引き続き今年も迷わずOCTAVEをお勧めする理由はいたってシンプル。「どんなスピーカーが来ても恐くない！」からです。例えば鳴らしにくいと言われているヴィンテージスピーカーTANNOYのオートグラフや最新のスピーカーB&W800シリーズなど、新旧問わず、いとも簡単にウーファーを駆動・制御し、繊細かつスケール感の大きい素晴らしい音を奏でてくれます。「良いアンプに一番重要なのは電源トランスである」というOCTAVE創設者アンドレアス・ホフマンの思想から、現在でも全てのトランスは自社で設計、開発生産をしています。トランスは使用するコア、線の巻き方が磁界の乱れに大きく影響を与え、その乱れは音楽再生に顕著に現れ、ノイズやひずみの原因になることもあります。そのため細心の注意を払い、一つ一つ丁寧に心を込めて巻きます。アンドレアス氏から直接その工程の説明を受けた時には、「良い音がするのは当然。レベルが違いすぎる…」とスタッフ皆深く感銘を受け、大いに納得したのでした。またアースの落ちていない日本の特殊な電源事情に合わせて設計されているのも特徴です。通常の真空管アンプは単一の同規格管に合わせて設計しますが、OCTAVEはゆとりのある電源回路と優れた電源トランスを持つことによって、出力管の種類をEL34、6550、KT88、6L6に変更可能であり、これは1台で4種類のアンプを担っているのと同様です。聴かれるジャンルや接続するスピーカーにより様々な音色をお楽しみいただけます。またより一層のクオリティーアップやゆとりが欲しい場合は、同社から発売されている強化電源BlackBoxを使用するのもお勧めです。

アンプ部門



OCTAVE プリメインアンプ



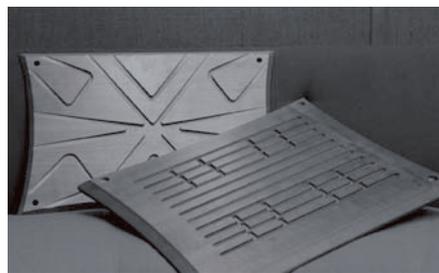
オーディオラックのQUADRASPIRE社が、更なる音質向上のために何度も試作を重ねて製作された一品です。EVOLUTION (進化)から名付けられた当製品は、スタンダードモデルの Q4 シリーズの棚板と同じサイズで、裏面に施された共振対策の溝が最大の特徴です。また従来より機器からの振動を逃すことや放熱効率を考慮して直線型スリットが入っているVENTシリーズも、新たに縦方向にスリットが入るように改良され、S/Nが格段にアップしました。棚板内で発生するレゾナンスを瞬時に逃がすことが目的で、従来の棚板との音の差は歴然です。それぞれを比較したところ…

◆音ヌケが良くなり、クリアで見通しの良い再生

◆低音のスピード感が増し、締まって制動の効いたベースライン

◆サウンドステージも広がり、スピーカーからの音離れが飛躍的に向上

進化を遂げたQUADRASPIRE、アンプをアップグレードするのと同等の価値が見出されることでしょう。



アクセサリ部門



QUAD・SPIRE EVO & VENT

NEWS

- ・DS 1stステップセミナー、ほぼ毎日開催中。スケジュールはHPにて。
- ・本ページ紹介のオリジナルスピーカー他、新モデル、その他の新情報については当店HP「SOUND CREATE TIMES」をご覧ください。

SOUNDCREATE | 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-6 第一銀座ビル 7F
Tel.0120-62-8166 http://www.soundcreate.co.jp/

SOUNDCREATE Legato | 〒104-0061 中央区銀座 2-4-17
Tel.03-5524-5828 http://www.soundcreate.co.jp/legato/

営業時間：12：00～19：00 定休日：毎週火曜日/第2、第3月曜日 (祝日の場合第1月曜日に振替)

【取り扱いブランド】

LINN / PIEGA / B&W / ELAC / Davone / JBL / Raidoh Acoustics / Sonus faber / Mark&Daniel
Anthony Gallo / HARBETH / OCTAVE / NuForce / TRIGON / N-mode / QUADRASPIRE...etc
(ヴィンテージ各種)

